

小玉安恵

### 要旨

日本語教育において今まで余り関心の払われてこなかった「ほめ」について、学習者にとって習得の困難な、誉めに頻出する形容詞のイメージを明らかにするべく、SD法(意味微分法)を用いたアンケート調査を行ったところ、日米の被験者の間に日本語の形容詞に対するイメージの差がみられた。

小論では、社会言語学的な立場から、ほめ言葉が、それぞれの文化や社会の価値観(=社会文化的価値観)の反映体であると同時に、これらの評価を含む表現が通常用いられている社会から離れて用いられた際の問題点を指摘する。

[キーワード] ほめ、社会文化的価値観、文法外のコミュニケーション能力

#### 1. はじめに

ある社会において、真に適切な発話を行うためには、「文法外のコミュニケーション能力」(ネウストプニー:1982)が必要であるとの認識から、社会言語学的レベルでの言語行動の対照研究が徐々になされつつある。

それまで「文化」という、漠然としたカテゴリーで片付けられていた文法外のコミュニケーションルールを、文法などと同様、法則として論理的に提示しようという動きである。

ここ数年、日本語教育の教壇にあって、教師に対して不適切であると思われるほめ方に接したり、自分のほめ方が適切であるかを確認めようとする学習者の発言に接する度に、「ほめ」という言語行為が、学習者にとって単純な文型とは裏腹に、困難、かつ関心の高い問題であることを認識した。

また、自分自身の中にある「ほめ」に関する常識というのも、実に曖昧なものであった。学習者によっては、彼らのほめ方が適切でないことを理解させるのに、日本人の常識ないし文化であるという説明では、不十分かつ非力なのである。学生の中には、その常識や習慣自体を自分の感覚では納得できないために、批判的に捉えたり、軽視する学生もいる。

「ほめ」という言語行動の背景には、異なった国の歴史や社会構造に基づいた

文化的な価値観やルールが複雑に絡み合っている。それをいかに機能的に、つまり文化を越えて理解できる説明を提示できるかということが必要とされているのである。

また、日本人としても、常識として暗黙のうちに共有されているものにメスを入れる必要がある。異文化間だけではなく、性差や世代差によっても、ほめが、誤解の原因となることが往々にしてあるからである。

「ほめ」という行為は、相手ともっと親しくなりたい、好意をもってもらいたいという、人間関係において最も基本的であり、かつ良心的な言動である。適切に用いられれば、コミュニケーションの最上の潤滑油になる可能性を秘めておりながら、逆に摩擦の原因になってしまうのは非常に残念である。このようなほめ言葉による異文化間のミスコミュニケーションの原因を明らかにするには、対照比較研究が必須であろう。

そこで本研究では、“compliment”研究が進んでおり、かつ日本とのかかわりの深いアメリカを比較の対象として選び、そのミスコミュニケーションの原因としていくつか想定できる要因の中から、日米の社会文化的価値観の差、つまり何を「よい」と評価するのかという問題を取り上げた。

「ほめ」という言語行為は、社会文化的価値観を映し出す鏡である。何をよいと評価し、ほめる対象として取り上げるかという価値基準は、もちろん個人によって異なるはずなのだが、我々人間が社会生活を行う上で、所属する社会や文化からの影響は免れ得ない。また、「ほめ」という行為自体、言語化されることで、ある一定の社会文化的価値観を社会に根付かせ、歴史的に受け継がせる役割を担ってきている。

そこで本論では、まず先行研究を参考にしながら、比較研究を行う上で必要な「ほめ」という行為の定義を行う。そして、ほめ言葉の使用実態調査の概要を説明した後、その調査結果をもとに、ミスコミュニケーションの原因となる日米それぞれの社会文化的価値観の差を考察する。

## 2. 「ほめ」とはなにか

「ほめ」という行為が、どのようなコミュニケーション上の機能をもつかという点については、「連帯感(solidarity)の確立及び強化」(Wolfson:1984)、「肯定的評価を伴う支援行為」(熊取谷:1989)あるいは「働きかけの丁寧行動」(Holmes:1988)など様々なレベルで論じられてきた。しかし、意外なことにその具体的な

行為の定義となると、自明のこととされていたためか、あるいはその全体像がつかめていなかったためか、なおざりにされてきた。その指摘にこたえ、定義に唯一取り組んだHolmes(1988)の定義は、「ほめ」という行為をかなり広く捉え、しかもその根本的な性質を端的にまとめている。この定義によると、ほめる側のみがプラスに評価するものではなく、ほめる側、ほめられる側の双方がその価値を認めるものに言及することが、「ほめ」の前提である。このことは、例えば勉強しないでマンガばかり読んでいる子供に対して「まあ、なんて勉強熱心なの」というような皮肉として「ほめ」の形態が用いられる場合などには、「ほめ」という行為は成立しないことを指す。つまり、人間関係を円滑にするという、ほめ本来の機能を含めた上での定義なのである。

しかし、この定義では、しばしば挨拶と同様に扱われることがあるほめ、いわゆる社交辞令といわれるほめを、挨拶とどう区別するのかという点が定かでない。挨拶とほめの相違点を考えるに、挨拶というのは、全くの決まり文句であり、学校や家庭で礼儀として教え込まれる事項である。しかし、ほめ言葉は、いくら定型化していたとしても、挨拶のように教育されることはなく、基本的に自分でほめる事項を見つけだす努力をしなくてはならない発話行為であると考えられる。

そこで、本論ではそのような意味も含めて、Holmes(1988)の定義をベースにしつつ、次のように「ほめ」という行為を定義する。

「ほめ」とは、話し手が話し手以外の人の持っている、話し手と聞き手の双方が価値を認めるなにか(例えば、持ち物、性格、技術など)を自発的に見つけだし、それに対して明示的あるいは暗示的に「良い」と認める行為であり、結果的には人間関係の潤滑油として機能すべきものである。

### 3. 調査の概要

#### 3-1. 先行研究の成果と課題

先行研究においては、そのほとんどが“ethnographic method”という実際のほめの発話を記述、収集して行く方法がとられている。

それらの結果によると、アメリカのほめは、会話の初めに起こる確率が最も多く、そのトピックは全体の62.8%が“appearance/possessions”、次いで29.1%が“ability/performance”となっている(Wolfson:1984)。

また、表現形式は、プラスイメージの形容詞に依存している例が、全体の80%に及び、具体的にそれらは、nice(23%)、good(20%)、pretty(9.7%)、beautiful

(9.2%)、great(6.2%) の5つの形容詞であるとされている。

これらの結果は、ほめの大きな傾向を知るうえでは大変参考になるが、実際に使用する際、「どういう状況で、どういう人に、どのような表現を使うのか」という実用性には欠けている。また、学習者にとっては、これらの形容詞のイメージ不足が、適切にほめられない一因ともなっており、解決されなければならない問題であると考えられる。

日本のほめの研究は、これまでほめの返答の部分に焦点を当てた研究が目立っており(横田:1986、熊取谷:1989)、学習者を言語的に受け身の立場にあるものとして捉えていると思われる。

しかし、日本語教育の現場にあって、学習者に必要なのは人間関係を能動的に開拓し、また円滑に発展させていくために必要な「ほめ方」であると考えられる。そこで、本論では、適切にほめるために必要な情報の提供を目的とした調査を行った。具体的な調査の詳細については、以下の節においてのべる。

### 3-2. 調査の内容

今回の調査では、アンケートにより、話者の意識という観点から、最大公約数である会話のきっかけとなる外見に関するほめについて、日米間で頻出する形容詞のイメージを明らかにすることを目的にした。

頻出形容詞のイメージ調査は、学習者に受けるほめに使用する形容詞の適切さに関する質問に発想を得た。個人的な経験からいっても、形容詞の意味というのは習得が困難であり、使用するのに絶えず不安が付きまとうものである。

この形容詞の使用の不適切さには、大きく二つのレベルの原因が考えられる。それは、語のイメージに関して知識不足という言語的なレベルと、それぞれの社会や文化の根底にある価値観の相違という文化的なレベルである。例えば、日本語を学んだ若いアメリカ人女性が、日本人男性に「かわいい」といわれて怒ったという話などはよく聞くエピソードであるが、これは後者のレベルがより強い要因となっていると思われる。

ほめる際によく用いられる形容詞の意味分析は、学習者に辞書では得ることのできないイメージについてより豊富な情報を提供するだけでなく、その社会で価値の認められている物事の性質を知ることにもなり重要である。

唐須(1988)によれば、感情や評価を表す形容詞というのは、ことばのもつ感情表出機能(expressive function)が凝縮されたものであり、これらの語は、

実質的な意味よりも、コノテーション(connotation)が圧倒的に優勢であるために意味の安定性に欠け、それゆえに誤解が生じやすいとされている。しかし、ある特定の言語社会において、特定の語の意味のコノテーションに、ある程度の共通性があることも確かな事実であるといっている。

SD法(Semantic Differential Method)は、こうした形容詞のイメージを測定するのに適した方法であると考えられる。なぜならば、SD法はOsgoodにより測定する対象の内包的意味(connotative meaning)を図る尺度として提唱された方法で、意味の定義に差異を生じさせる次元として被験者の反応と内的要因、非言語的要素、コンテクストを想定し、それらすべてがSD法の測定する意味であるとされているからである(芳賀:1963)。具体的には、SD法とは制限連想法と尺度法の組み合わせで、ある測定したい概念を両極に対になる形容詞(bi-polar adjective)を配した7段階の尺度で判定する([資料1]参照)。

次に、測定する概念の形容詞であるが、これは先行研究の結果と独自の調査により選出した。

[表1]

言語	上位の形容詞
1)アメリカ英語 (Wolfson:1984)	1. nice 2. good 3. beautiful 4. pretty 5. great
2)ニュージーランド (Holmes:1986)	1. nice 2. good 3. lovely 4. beautiful 5. great 6. neat 7. wonderful 8. delicious 9. pretty
3)日本語 (Daikuhara:1986)	1. いい 2. すごい 3. きれい 4. かわいい 5. おいしい 6. えらい
4)アメリカ英語 (竹蓋:1982)	1. beautiful 2. terrific 3. good 4. great 5. wonderful 6. pretty 7. warm 8. lovely 9. bright 10. fantastic
5)日本語 小玉(1992)	1. きれい 2. かわいい 3. 優しい 4. すごい 4. いい 6. 美人 6. 明るい 8. 素直 9. 賢い 9. 美しい 10. すてき

上記の[表1]の1)~3)は、実際の発話のデータから集計したものであるのに対し、竹蓋(1982)は、被験者の価値判断(15名のアメリカ人学生)を対象とした語彙のアンケート調査の結果である。小玉(1992)は、竹蓋の方法を踏襲し、日本人学生15名に素晴らしいと感じたり、人をほめたいときに使う言葉をできるだけ多く書き出させた。表1の結果は、話者の意識と実際の発話とのギャップを表したものとなっているが、より正確な価値観の実態を見るには話者の

意識と無意識レベルの双方の視点が必要であると考える。

そこで、総合的に[表1]の中から外見の誉めに頻出する日本語の形容詞、美しい、きれい、すてき、かわいい、美人 を調査の対象として選び出し、さらに二言語間で辞書的に対応している英語の、beautiful, pretty, cute を母語の影響を見るという調査上の必要性から付け加えた。

なお、いい、すごい については、Wolfson(1984)により、英語の nice, good, great があまりにも適用範囲が広すぎるため意味的にほとんど価値のない陳腐な言葉になっているとされていることから、SD法による意味分析に適さないと判断し、調査の対象外とした。また、今回の調査に用いた対形容詞の尺度の構成に関しては、田中(1964)、岩下(1983)及びOsgood et al(1957,1976)による尺度構成手順を参考にした。

まず第一に、被験者からの連想語の抽出を行った。具体的には、測定する概念、かわいい、きれい、すてき、美人、美しい について女子大生15名に協力してもらい、各々についてどのような連想をするか、できるだけ多く書き出させた。それらの中から、頻度の多いものや尺度として使用できそうな形容詞を選び出し、対形容詞の形にした。

次に、先行研究からOsgood(1957)において、被験者による自由連想とロジェのシソーラスからの網羅的な収集によって形成された対の尺度形容詞の一覧表から、今回の概念の意味分析に使用できるものを選出した。なお、選出にあつたはOsgoodの研究で明らかにされた情緒的意味空間を構成する8つの因子、価値的、力量的、活動的、安定性、厳格性、新奇性、受容性及び未分類因子から一様に選出した。

これらの手順を経て選出した24組の尺度形容詞は、本調査に先立って行われた予備調査により18項目に調整した。これは、回答に際して回答者の負担を減ずると共に、これらの尺度項目による測定の妥当性及び信頼性を高くするためである。なお、言語使用及び理解とその文化的側面との関係を検証するのに必要と思われる項目は、予備調査の結果如何に関わらず調査者の判断の下に残してある。

この18項目は決定後、バイリンガルの知人4名(女性3名、男性1名)に項目の翻訳を依頼、時間を置いてその訳語を日本語に訳し直すという作業(translation back)を行った。そしてさらに、SD法に関する先行研究等の訳語も参考にした上で、最も安定性のある訳を採用した([資料1]参照)。

質問文及び尺度形容詞はすべて被験者各々の第一言語を使用した。なお、アンケートの際には、被験者毎に概念及び「すき/きらい」以外の対形容詞の尺度項目の順序及び左右位置を無作為に配列し、公正さを期した。

#### 4. 調査結果とその分析

##### 4-1. 結果

被験者の国籍、性別、年齢層は以下の表の通りである。

[表2]

回答者	日本人	合計	米国人	合計	計
性別 (sex)	男性(MALE) 23名	46名	男性(MALE) 19名	45名	91名
	女性(FEMALE) 23名		女性(FEMALE) 26名		
年齢層	18~30歳		18~30歳		
所属 大学名	男性東大、大学生&大学院生 女性お茶大大学生&大学院生		※EAPの大学生及び大学院生 (調査当時、在日2~3カ月目)		

(※EAP=Education Abroad Program of Universities of California)

次頁以下の[1]~[5]のグラフは、尺度の7段階に1~7の数値を設定して、項目毎に単純集計した上で、それを被験者の国籍でクロス集計し、その平均値をグラフ化したものである。また、下の[表3]は、このクロス集計結果に対して、カイ二乗検定をおこなったところ、何らかの尺度項目において有意差があると認められた概念を因子毎にまとめたものである。(有意水準<0.05)

[表3]

因子/項目	対形容詞	有意差の認められた概念及び確率
価値的因子	すき/きらい	かわいい(0.0218)
	大切な/大切にない	かわいい(0.0000)
力量的因子	やわらかい/かたい	美しい(0.0012)美人(0.0078)きれい(0.0005)
活動的因子	温かい/冷たい、	美しい(0.0372)、美人(0.0002)
	活発な/おとなしい	美しい(0.0130)
受容性因子	色鮮やか/無色の	美人(0.0358)
未分類因子	先天的/後天的	すてき(0.0021)、かわいい(0.0224) 美しい(0.0286)

日米間で特に有意差の認められた概念は「美しい、かわいい、美人」の3語で、尺度項目別にみれば、「やわらかい/かたい、温かい/冷たい、活発な/おとなし

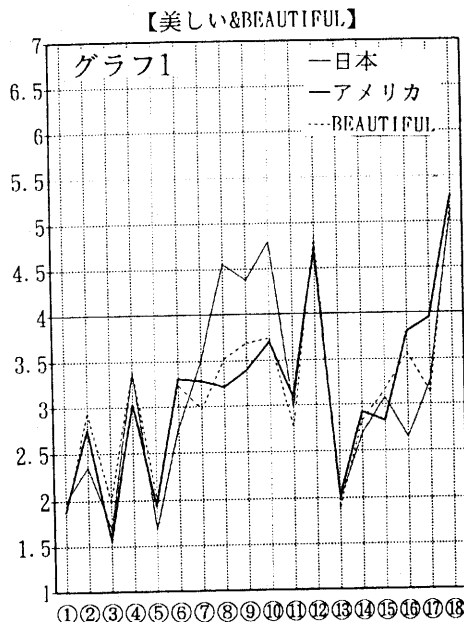
い、先天的/後天的、大切な/大切でない、すき/きれい、色鮮やか/無色の」の7項目であった。概念別にそのイメージの特徴を見ると、以下のとおりである。

**美しい(グラフ1)** : カイ2乗検定による有意差は「やわらかい/かたい」「温かい/冷たい」「先天的/後天的」「活発/おとなしい」の4項目において認められた。これらの項目を平均値のグラフ1で見ると、やはりその他の項目に比べて差が著しく、日本人は「美しい」を「かたく、冷たく、おとなしい」イメージで、アメリカ人は「やわらかく、温かで、活発な」イメージで捉えているのがわかる。

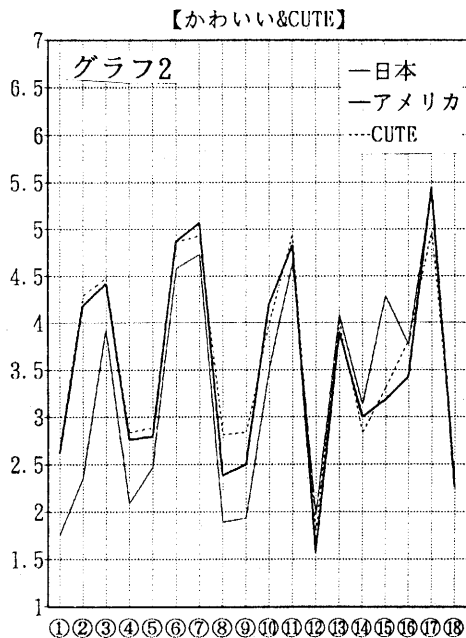
また、日本人は「美しい」をかなり「先天的」なものとして捉えているが、アメリカ人にとっては、あまり意味のない項目のようである。さらに、これらの結果は、アメリカ人の“beautiful”とかなり近いことがわかる。

日米に共通した「美しい」のイメージは、「好き、優雅、清潔、成熟した、永遠、特別、文語的」等である。

**かわいい(グラフ2)** : 有意差の見られた項目は、「すき/きれい」、「大切な/大切でない」、「先天的/後天的」の3項目である。これらの項目をグラフ2で見ると、日本人はこの語をかなり好ましい語として捉えているのに対し、アメリカ人はやや好ましい語という捉え方をしている。これを5つの形容詞の中で比較すると、日本人にとって「かわいい」は、最も好ましい語であるのに対し、アメリカ人は最も好ましき



①好き②大切③優雅な④明るい⑤清潔な⑥賢い⑦強い⑧柔らかい⑨温かい  
⑩活発⑪永遠⑫若々しい⑬特別な⑭色鮮やか⑮敏感⑯先天的⑰独立⑱口癖





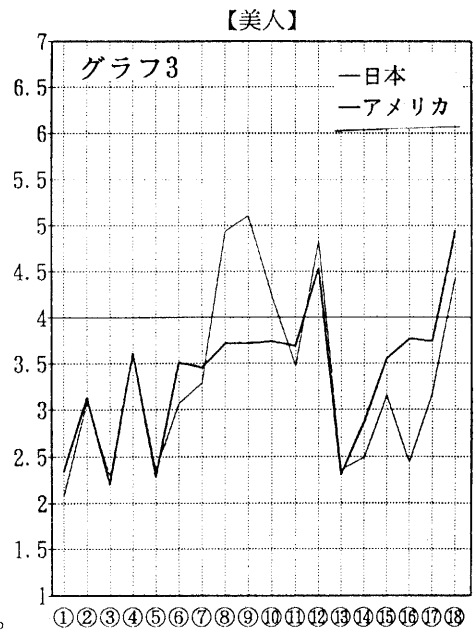
の少ない語となっている。また、日本人にとってこの語はかなり大切な概念であるが、アメリカ人にとっては大切な概念ではない。

さらに、先天性については、平均値ではさほど差はみられないが、最頻値の値が日本人は4及び5にあり、中立的あるいは後天的なイメージを抱いている人が多いのに対して、アメリカ人は3及び4にあり、日本人に比べてやや先天的なイメージを抱いている。

日米に共通した「かわいい」のイメージとしては、「依存的、温かい、弱い、やわらかい、明るい、一時的、普通の、口語的」などが特徴的である。

また、この語も「美しい」と同じく、グラフ2からアメリカ人の“cute”と「かわいい」のイメージが非常に類似している。

**美人(グラフ3) :**有意差の認められた項目は、「温かい/冷たい」「やわらかい/かたい」「色鮮やか/無色の」の3項目である。グラフ5の平均値からは、日本人は「美人」を「かたく、冷たく、おとなしい」イメージで捉えるのに対し、アメリカ人は「やわらかく、温かで、活発な」ものとして捉えているのがわかる。また、「美しい」と同様、日本人は「美人」をかなり「先天的な」ものとして捉える傾向にあるが、アメリカ人にとってはあまり意味のない項目であるようだ。



また、「色鮮やか」については、最頻値が日本人の場合、「1=非常に色鮮やか」にあるのに対し、アメリカ人の場合「3=やや色鮮やか」にあるので、その回答パターンが有意差として出たものと考えられる。

①好き ②大切 ③優雅な ④明るい ⑤清潔な ⑥賢い ⑦強い ⑧柔らかい ⑨温かい  
⑩活発 ⑪永遠 ⑫若々しい ⑬特別な ⑭色鮮やか ⑮敏感 ⑯先天的 ⑰独立 ⑱口語

日米に共通な「美人」のイメージとしては、「特別、優雅、色鮮やか、やや成熟した」等のイメージが特徴的である。

**すてき(グラフ4) :**「すてき」については、「先天的/後天的」の項目に日米間の有意差が認められた。「すてき」は、5つの概念形容詞のなかで、唯一日米ともに「後天性」にイメージの傾いた語で、元来外見をほめるその他の形容詞が「先天性」に傾きがちであるのと対照的である。アメリカ人はこの語を最も

好ましい語として受け止めている。日本人も「かわいい」に次いで好ましい語として受け止めており、かつ最も「大切に、賢い」というイメージも抱いている。

日米に共通な「すてき」のイメージとしては、「後天的、独立した、活発、強い、色鮮やか」などが特徴的である。

きれい(グラフ5) : 「きれい」については、「やわらかい/かたい」の項目に有意差が認められた。グラフ7の平均値をみると、「美人」や「美しい」と同様「やわらかい、温かい」において差異が見受けられる。つまり、日本人は「きれい」を「かたく、冷たい」イメージで捉えるのに対して、アメリカ人は「やわらかく、温かな」イメージで捉えていると言える。

また、「美しい、かわいい」程ではないが、アメリカ人の場合、「きれい」もより英語の“pretty”の意味に近い。

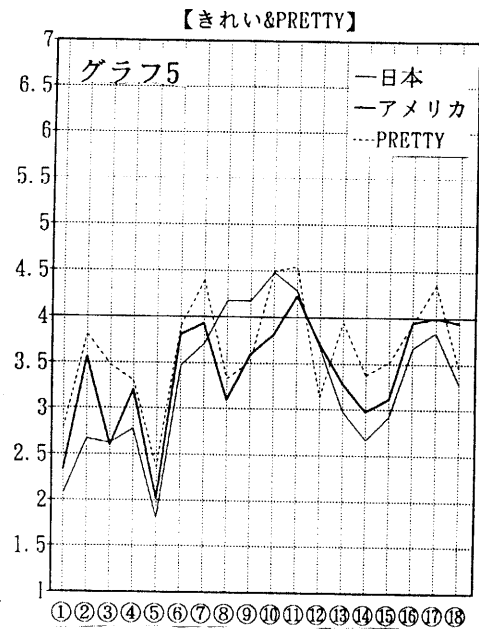
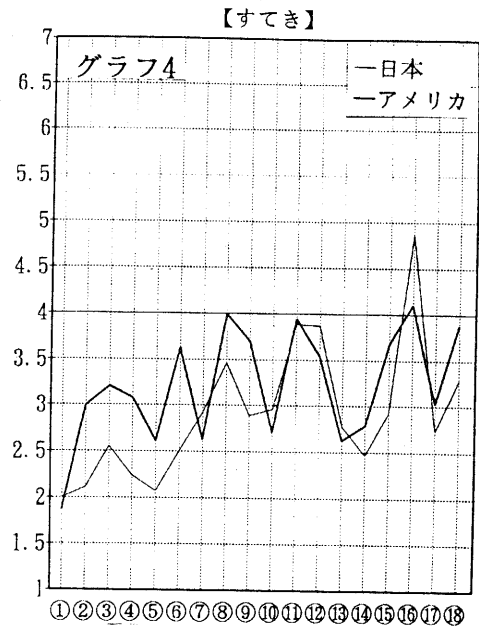
日米に共通な「きれい」のイメージとしては、「清潔、優雅な、敏感な、色鮮やか」などがあげられる。

①好き②大切③優雅な④明るい⑤清潔な⑥賢い⑦強い⑧柔らかい⑨温かい  
⑩活発⑪水遣⑫若々しい⑬特別な⑭色鮮やか⑮敏感⑯先天的⑰独立⑱11語

#### 4-2. 分析

ほめに頻出する日本語の形容詞の意味分析からは、全体的に日米の学生の間に、ある程度の近似は認められるが、完全な一致はなく、アメリカ人の日本語学習者の形容詞の意味は、日本人のものより英語の意味に近いことが明らかになった。

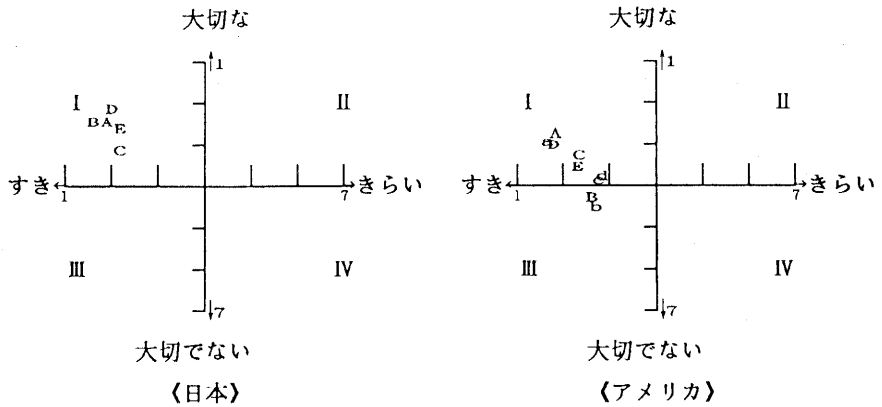
その相違点については、芳賀(1963)や竹蓋(1982)の日本人の英語の意味に関する先行研究の結果と同様、今回の形容詞の意味においても、価値的因子と



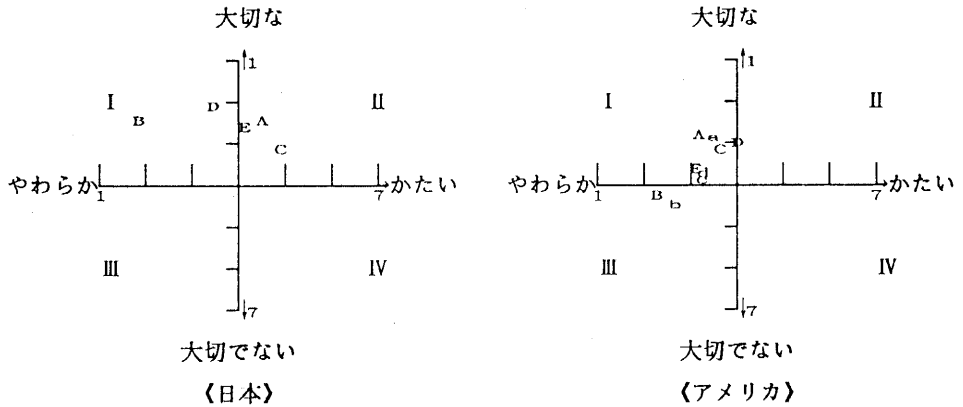
力量及び活動的因子において、比較的大きな差が認められた。また、今回の調査では、未分類因子の「先天的/後天的」においても、日米の差が出た。それらの差が分かりやすいように、全ての概念形容詞の数値([資料2]参照)を因子毎に分散図という形で表すと次のようになる。

A=美しい B=かわいい C=美人 D=すてき E=きれい a=beautiful b=cute d=lovely e=pretty

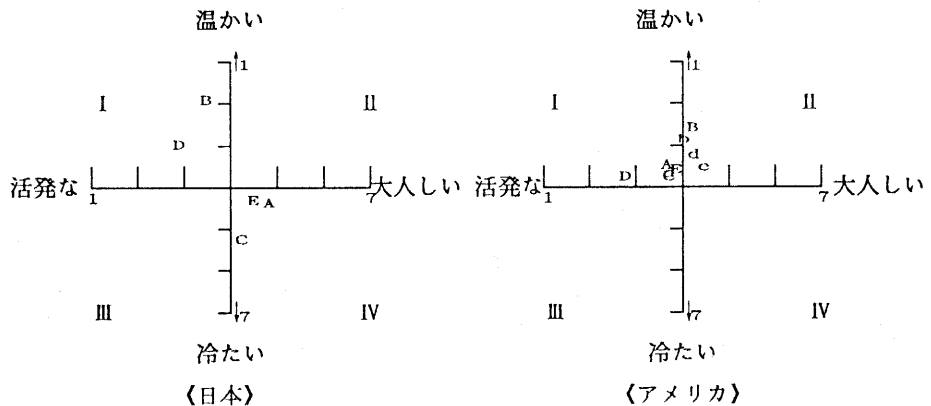
【価値的因子】



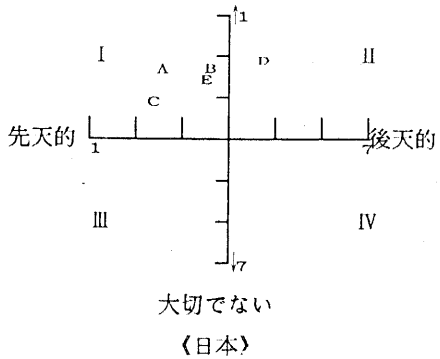
【力量的因子】



【活動的因子】

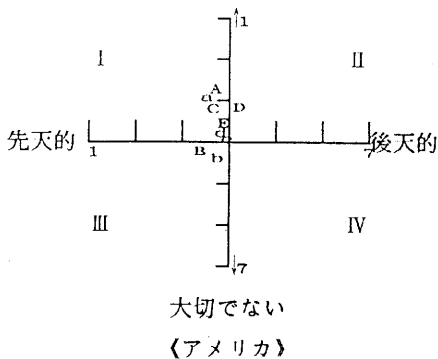


【未分類分子】 大切な



大切なない  
〈日本〉

大切な



大切なない  
〈アメリカ〉

これらの分散図に示されているように、日本では、外見をほめる際に、ほめる対象のもつ先天性が高く評価されると同時に(例:「美しい、美人」)後天性も評価され(例:「すてき」)アメリカに比べて、価値観の二分化が著しい。その現象は、その対象を「かたく、冷たく、おとなしい」という静的イメージで捉える「美しい、美人」と「やわらかく、温かき、活発」というような動的なイメージで捉える「すてき、かわいい」が両方高く評価されていることにも同様のことが言える。

一方、アメリカ人は外見をほめる際に、先天性については中立的な立場をとる傾向にあり、また高く評価されているのも一貫して「活発な、温かい、やわらかい」という動的なイメージで捉えられた「美しい、すてき、美人」であることがわかる。

これらの調査結果は、日本とアメリカでは、よいと評価される性質に差異があることを示していると同時に、「美しい、かわいい」に代表されるように、その語を使用する際に自国の社会文化的価値観を持ち込んでしまうことを証明している。このことは、外見についてのほめ言葉を発する際に、お互いの国の価値観の差から思いがけない誤解が生じる可能性を示唆していると思われる。

## 5. おわりに

今回の調査では、ほめに頻出する形容詞の意味分析を行うことにより、日米の価値観の差を明らかにすることを試みた。その結果、日本では先天的なことも後天的なことも評価されるのに対し、アメリカでは、先天性はあまり評価の対象にならないことが分かった。

また、日本では静的なイメージ(例、おとなしい、冷たい、かたい)と動的なイメージ(例、活発な、温かい、やわらかい)の両方が高く評価されるのに対し、

アメリカでは、動的なイメージのほうが好まれるようである。

ほめ言葉は、評価という要素を常に含んでいる。今回の調査では、これらの評価を含む表現が通常用いられている社会から離れて用いられる場合、誤解を生みかねない問題点があることを、アメリカ人と日本人の社会文化的価値観の差という観点から証明した。

しかし、日米間のほめの差を生み出すのは、単に価値観の差だけではない。言語観の差や人間関係の捉え方の差などもほめに大きくかかわってくる。

今後は、実際の発話から、より広範囲で多量のほめのデータを収集し、ほめに関する言語形式と、日本人の人間関係の捉え方として注目されている「ウチ/ソト」の認知との関わりをみていきたいと思う。

### 【参考文献】

- Holmes(1988). Paying compliments: a sex-preferential positive politeness strategy. Journal of Pragmatics12(3):485-508.
- Manes, J(1983). Compliments: A mirror of cultural values. In Wolfson, N & E. Judd eds. Sociolinguistics and Language Acquisition. Newbery House.
- Osgood, C., Suci, G. and Tannenbaum, P (1957). The measurement of meaning. University of Illinois Press.
- Osgood, C(1976). Focus on Meaning: Exploration in Semantic Space. Mouton.
- Wolfson, N(1984). Pretty is as pretty does: a speech act view of sex roles. Applied linguistics5/3:236-244
- 岩下豊彦 (1983)「SD法によるイメージの測定」川島書店
- 熊取谷哲夫(1989)「日本語におけるほめの表現形式と談話構造」『異文化適応の理論的実践的研究(2)』広島大学教育学部日本語教育学科
- 竹蓋幸生 (1982)「日本人英語の科学-その現状と明日への展望」研究社出版
- 田中靖政(1964)「意味の測定と情緒的意味体系に関する諸研究」『心理学評論』
- 唐須教光 (1988)「文化の言語学」勁草書房
- ネウストプニー(1982)「外国人とのコミュニケーション」岩波書店
- 芳賀純(1963)「日本人学生の学習した英語名詞の意味構造の比較研究」J. J. Edu. Psyc.
- 横田淳子(1985)「ほめられたときの返答における母国語からの社会言語学的転移」『日本語教育』58

[資料1]

■外見をほめるときに使う語彙について、皆さんのもっておられるイメージをお伺いします。これから評価して頂く語は、「きれいな、かわいい、美しい、美人、すてきな」の5つです。これらの語をあなた自身の感覚で次の例のような形容詞のスケールで評価し、適切と思う位置に印をつけて下さい。

(例) きれいな

幸運な [ X X X X x X X ] 不運な  
3 2 1 0 1 2 3

3:非常に~ 2:かなり~ 1:やや~ 0:どちらとも言えない

日本人用

かわいい

3 2 1 0 1 2 3

- すき [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] きらい
- 汚い [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 清潔な
- 特別な [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 普通の
- 文語的 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 口語的
- 明るい [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 暗い
- 賢い [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 愚かな
- かたい [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] やわらかい
- 弱い [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 強い
- 大切な [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 大切でない
- 敏感な [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 鈍感な
- 温かい [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 冷たい
- 優雅な [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] きこちない
- 若々しい [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 成熟した
- 色鮮やかな [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 無色の
- 独立した [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 依存的
- 活発な [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] おとなしい
- 一時的 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 永遠の
- 先天的 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 後天的

3 2 1 0 1 2 3

アメリカ人用

美しい

3 2 1 0 1 2 3

- like [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] dislike
- warm [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] cool
- weak [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] strong
- elegant [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] awkward
- wise [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] foolish
- formal [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] informal
- dark [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] light
- important [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] unimportant
- active [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] passive
- colorful [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] colorless
- transient [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] lasting
- dirty [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] clean
- youthful [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] mature
- innate [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] acquired
- common [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] special
- sensitive [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] insensitive
- dependent [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] independent
- hard [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] soft

3 2 1 0 1 2 3

[資料2]

BSD法対形容詞項目毎の数値一覧表 (日 vs 米)

項目	日本	米	1. beautiful	2. cute	3. pretty	4. lovely	5. cute
(すき)	1. かわいい(1.76) 2. 美しい(1.98) 3. すてき(2) 4. きれい(2.07) 5. 美人(2.07)	1. すてき(1.87) 2. 美しい(1.88) 3. きれい(2.33) 4. 美人(2.34) 5. かわいい(2.62)	1. beautiful(1.83) 2. cute(2.87) 3. pretty(2.79) 4. lovely(2.8)				
(大切に)	1. すてき(2.11) 2. かわいい(2.36) 2. 美しい(2.36) 4. きれい(2.87) 5. 美人(3.09)	1. 美しい(2.78) 2. すてき(3) 3. 美人(3.14) 4. きれい(3.57) 5. かわいい(4.19)	1. beautiful(2.95) 2. lovely(3.78) 3. pretty(3.81) 4. cute(4.29)				
(先天的)	1. 美人(2.44) 2. 美しい(2.64) 3. きれい(3.67) 4. かわいい(3.76) 5. すてき(4.87)	1. かわいい(3.43) 2. 美人(3.77) 3. 美しい(3.8) 4. きれい(3.95) 5. すてき(4.11)	1. beautiful(3.57) 2. cute(3.81) 3. pretty(3.93) 4. lovely(4.15)				
(活発)	日本: 1. すてき(2.96) 2. かわいい(3.51) 3. 美人(4.24) 4. きれい(4.49) 5. 美しい(4.8)	米: 1. すてき(2.71) 2. 美しい(3.71) 3. 美人(3.74) 4. きれい(3.81) 5. かわいい(4.21)	1. beautiful(3.74) 2. cute(4) 3. lovely(4.29) 4. pretty(4.5)				
(温かい)	日本: 1. かわいい(1.93) 2. すてき(2.89) 3. きれい(4.18) 4. 美しい(4.38) 5. 美人(5.11)	米: 1. かわいい(2.5) 2. 美しい(3.41) 3. きれい(3.6) 4. すてき(3.71) 5. 美人(3.71)	1. cute(2.81) 2. lovely(3.2) 3. pretty(3.52) 4. beautiful(3.69)				
(柔かい)	日本: 1. かわいい(1.89) 2. すてき(3.48) 3. きれい(4.18) 4. 美しい(4.56) 5. 美人(4.93)	米: 1. かわいい(2.38) 2. きれい(3.1) 3. 美しい(3.22) 4. 美人(3.72) 5. すてき(4)	1. cute(2.81) 2. pretty(3.33) 3. lovely(3.34) 4. beautiful(3.52)				

(ジョージタウン大学EFLコース)